

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	平野区
学 校 名	大阪市立喜連東小学校
学校長名	木 村 鑑 廣

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立喜連東小学校では、第6学年 56名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語、算数、理科の平均正答率は、全国平均、大阪市平均を下回っている。国語科の領域別の得点分布を見ると、大阪市、全国のそれと類似している。算数科の領域別の得点分布は、それぞれ7～12ポイント低く、低学年の基礎的な事項の未理解が、正しい答えを導き出せないことにつながっていると推測される。理科の領域別の得点分布を見ると、8～18ポイント低く、実験や観察の実験結果から科学的法則を見つけることができていると推測される。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕文章をよく読んで、何をたずねられているかをよく理解したうえで、正しい答えを導き出せていない。論理的に順序だてて作文したりすることも苦手な子どもが多い。

〔算数〕小学校低学年の四則計算が十分身につけていない子どもが多く、問題を正確に読み取り、正解を導き出せていない。

〔理科〕実験や観察をとおして、科学の普遍的原理を理解することが不十分なために、正解を導き出せていない子どもが多い。

質問調査より

子どもたちの自尊感情の向上を長年の課題としてきたが、今年度は、全国、大阪市のそれと同じ割合となっている。ただし、まだまだ目標や夢をもてていない子どもも多いことから継続的に成功体験を伴うような活動を実施していく必要がある。「学校へ行くのが楽しい」と感じている子どもの割合は、全国、大阪市のそれを上回っている。学校生活に満足している子どもが増えたことを表していると推測される。また、外国人の子どもが増え、学校生活の中で言葉や文化の理解に難しさが出てきている。

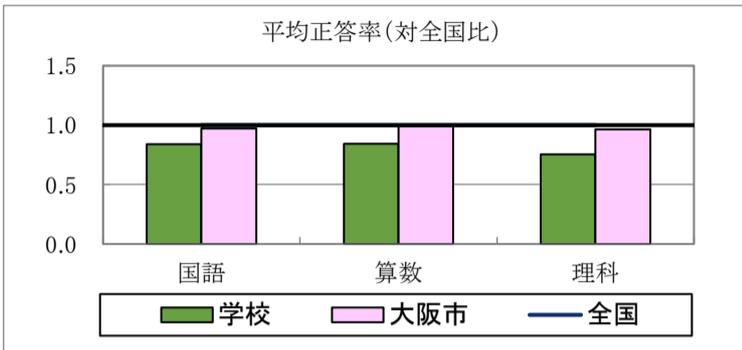
今後の取組(アクションプラン)

- 学力向上につながる国語科の漢字学習の習熟、算数科の四則計算の反復練習を継続して行う。
- 読書意欲を喚起し、読書を積極的にする子どもを育てる。
- 自尊感情を高めるために、体験活動を多く取り入れ、子どもたちの成功体験を増やす。
- 芸術活動や文化活動を通して、子どもたちの豊かな情操を培う。

【 全体の概要 】

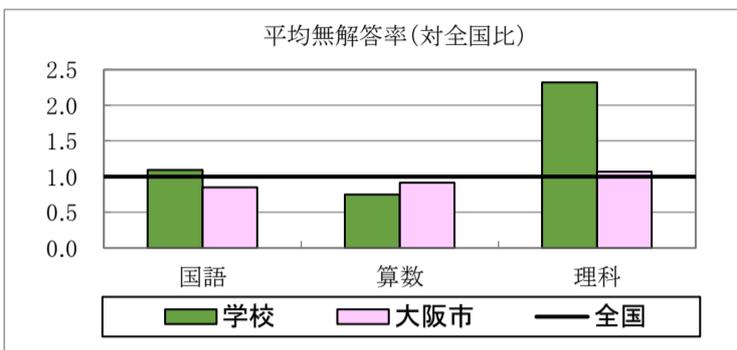
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	56	49	43
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	3.6	2.7	6.5
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



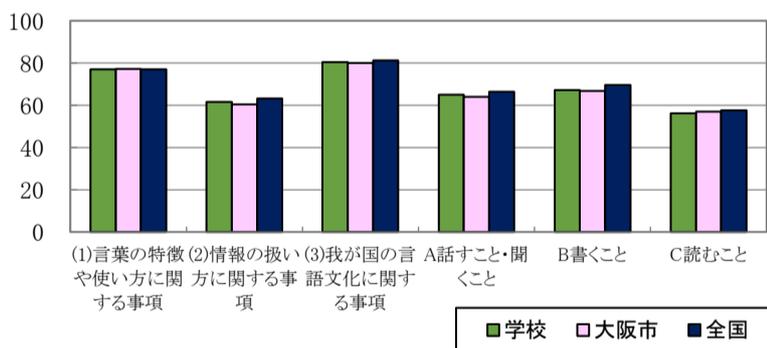
【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	77.0	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	61.5	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	80.3	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	65.0	64.0	66.3
B 書くこと	3	67.1	66.7	69.5
C 読むこと	4	56.1	56.9	57.5

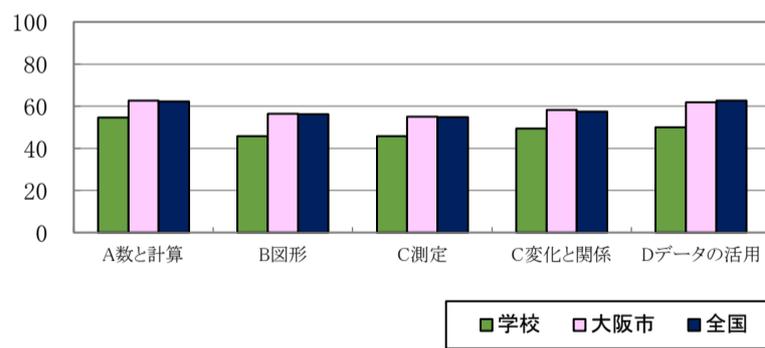
【 算数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	54.6	62.7	62.3
B 図形	4	45.7	56.4	56.2
C 測定	2	45.7	54.9	54.8
C 変化と関係	3	49.3	58.2	57.5
D データの活用	5	50.0	61.9	62.6

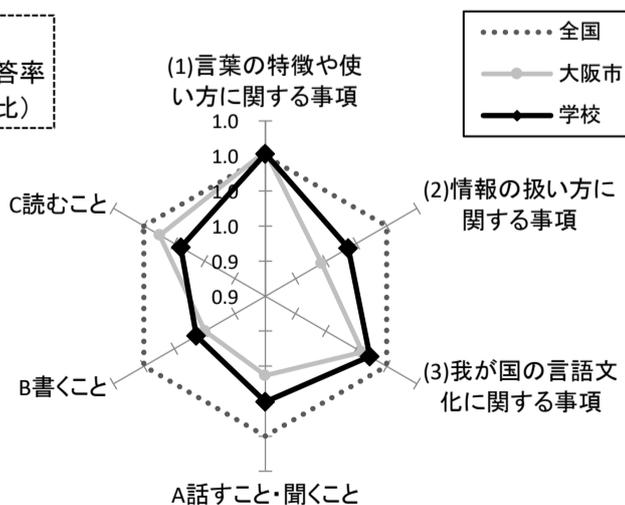
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



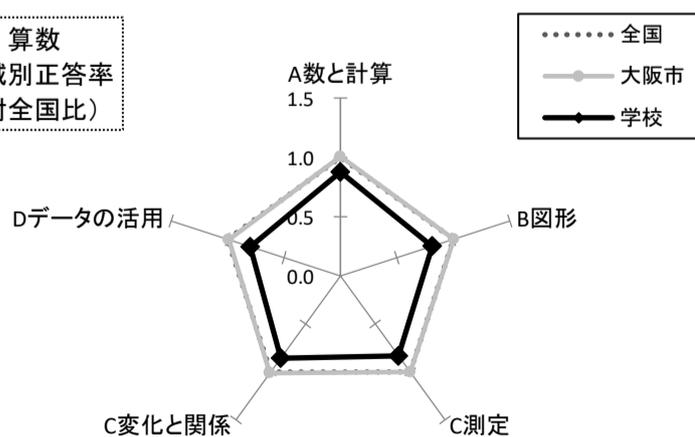
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 内容別正答率 (対全国比)

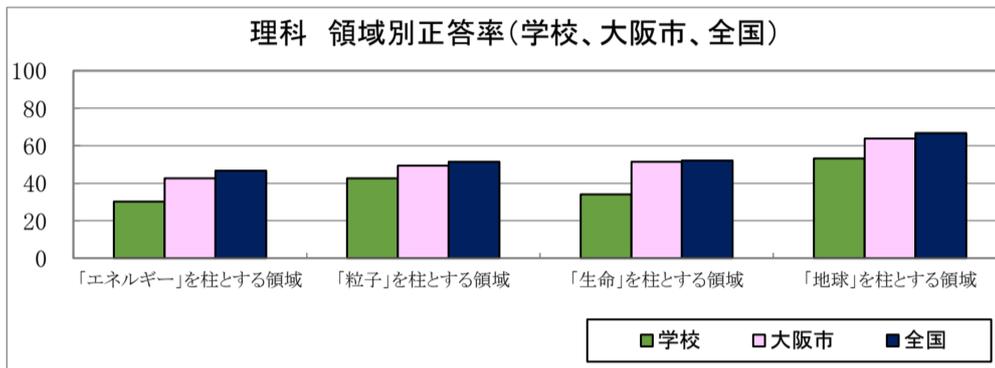


算数 領域別正答率 (対全国比)

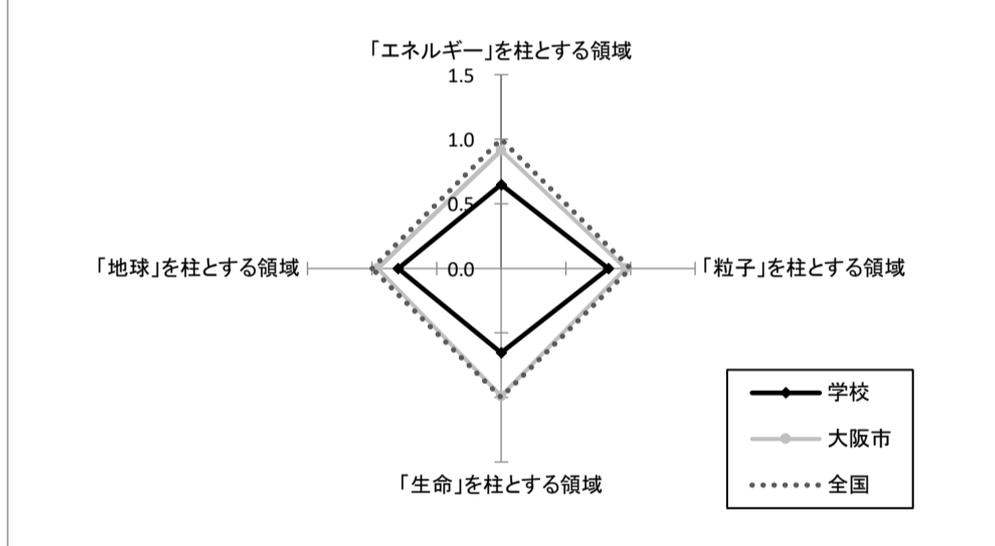


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	30.3	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	42.6	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	34.0	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	53.2	63.8	66.7



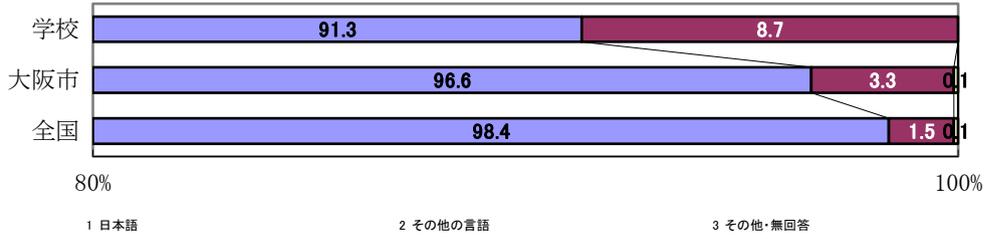
理科 領域別正答率(対全国比)



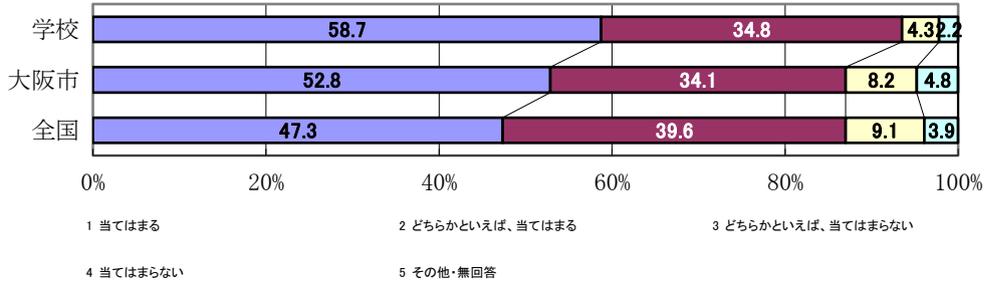
児童質問より

質問番号
質問事項

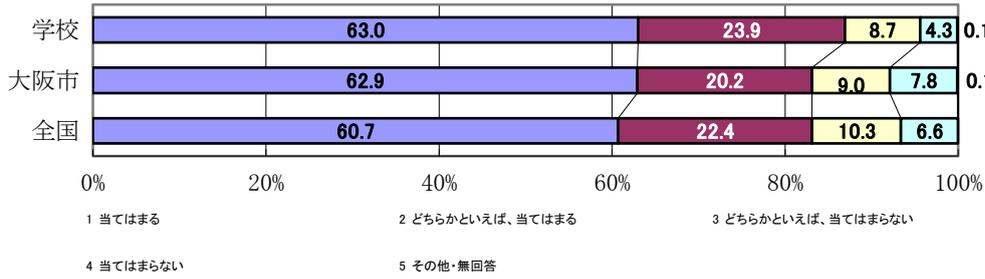
4
あなたの家では主に何語で話していますか



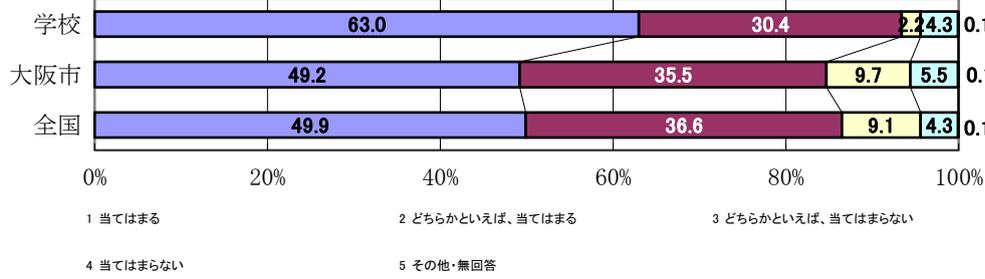
5
自分には、よいところがあると思いますか



7
将来の夢や目標を持っていますか



12
学校に行くのは楽しいと思いますか



14
友達関係に満足していますか

